

洛シ、八月、豊仁親王ヲ王位ニ定メ奉ル、光明院是ナリ、略此ニ於テ天下二分シテ南北二朝トナ

ル、當國ノ諸家或ハ北朝ニ歸シ、或ハ南朝ニ屬ス、略文和元年正月、將軍鎌倉ニ入、略此頃新田

左兵衛佐義興同武藏守義宗同左衛門佐義治武上信越ノ間ニ在テ、吉野ノ勅ヲ蒙テ義兵ヲ起ス、

國人多ク催促ニ應ズ、略中間二月十六日、高麗彦四郎經澄ガ勳功ノ賞トシテ、高麗郡内高麗三郎

兵衛尉ガ地頭職ノ闕ニ補セラル、略新田左兵衛佐義興、少將義宗、左衛門佐義治、當國へ打越、兒

玉黨、丹黨、西黨、東黨、私市、村山、横山、黨皆從フ、略二十日、將軍尊氏、武藏野ニ打出、新田武藏守義宗

等ト戰フ、略二十八日、再ビ小手差原ニ戰フ、新田方大ニ尊氏ノ陣ヲ敗ル、略康安、略六年四

月二十六日、左馬頭基氏逝去、略嫡男金王丸、東國ノ管領ニ補セラル、略十二月七日、征夷將軍

義詮薨、略若君幼稚ナレバ、細河右馬頭頼之ヲ天下ノ管領職ニ居シメ、武藏守ニ補任ス、略中應

永二年三月、上杉中務少輔朝宗入道禪助ヲ管領トス、略二十三年八月、新御堂滿隆、犬懸入道禪

秀、陰謀シテ鎌倉ヲ滅サント廻文ヲ回ラス、當國ノ諸士コレニ應ズ、略二十四年正月朔日、新御

堂滿隆持仲、上杉禪秀、鎌倉ヲ立テ世谷原ニ陣取、略五日、南一揆、江戸、豊島等、世谷原ニ向テ戰フ、

當方敗ス、略九日、又合戰ス、禪秀敗シテ鎌倉ニ歸、翌日、滿隆持仲、禪秀、武藏守護代兵庫助氏春皆

滅亡ス、江戸、豊島、鎌倉ニ入、略十七日、駿州ヨリ左馬頭歸入戰功ノ輩ニ恩賞ノ地ヲ與フ、江戸、豊

島等第一タツ、

〔新編武藏風土記稿四、建置沿革〕永享、略十二年、結城七郎氏朝、故持氏ノ幼息ヲ守護シテ結城ニ籠

城ス、管領ノ下知ニ依テ討手發向ス、上杉右馬助憲信入道性順ハ若林、長尾左衛門尉景仲ハ入間河

原ニ陣ス、略今年ヨリ寶徳ニ至ルマデ九年、關東主無シテ諸國穩ナラズ、略享徳三年十二月、

管領右京亮憲忠ヲ殺ス、憲忠其罪ニアラズ、略長尾入道越信武上ノ兵ヲ催テ、成氏退治ノ御教

書ヲ京將軍ニ請フ、略康正元年正月、典厩鎌倉ヲ立テ、府中高安寺ニ動座、上州ノ敵退治ノ爲ナ